

2019年2月21日

千葉銀行との災害・障害時における日銀ネットの相互利用について ～「千葉・武蔵野アライアンス」提携施策～

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）と千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、「千葉・武蔵野アライアンス」に基づく提携施策として、BCP（業務継続体制）の強化を図るため、2019年2月22日（金）より、災害・障害発生時に日本銀行金融ネットワークシステム※回線及び端末装置（以下「日銀ネット」）を相互利用していくことで合意しました。金融機関同士が日銀ネットを相互利用できるのは国内初となります。

これまでは、両行とも自行のバックアップサイトを使用することとしておりましたが、大規模な自然災害やシステム障害にも対応できるよう、今後は有事の際に、当行は東京都中央区日本橋にある千葉銀行の日銀ネットを、千葉銀行は埼玉県さいたま市大宮区にある当行の日銀ネットを、それぞれ利用できるようにすることで、金融・決済機能を維持してまいります。

両行は、今後も地域のお客さまの利便性向上や地域社会の更なる発展のため、幅広く提携施策を検討し、スピード感をもって実行に移してまいります。

※日本銀行と民間金融機関とをオンラインで結ぶ電子決済システムのことです。

以上

本件に関するお問い合わせ先
市場国際部 市場業務グループ 義居(よしい)
Tel : 048 (645) 0470 (直通)